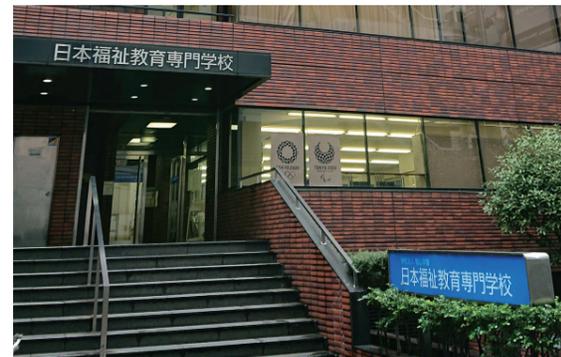


東京保健医療専門職大学

日本福祉教育専門学校 日本リハビリテーション専門学校 日本児童教育専門学校 日本医学柔整鍼灸専門学校



東京保健医療専門職大学



日本福祉教育専門学校

東京保健医療専門職大学

リハビリテーション学部
理学療法学科、作業療法学科

日本福祉教育専門学校

介護福祉学科、言語聴覚療法学科、社会福祉士養成学科、精神保健福祉士養成学科、社会福祉士養成科夜間部、精神保健福祉士養成科夜間部、社会福祉士養成通信課程（一般）、精神保健福祉士養成通信課程（一般）、精神保健福祉士養成通信課程（短期）

日本リハビリテーション専門学校

作業療法学科、理学療法学科

日本児童教育専門学校

総合子ども学科、保育福祉科（昼間コース/夜間主コース）

日本医学柔整鍼灸専門学校

柔道整復学科、鍼灸学科

敬心学園の特色

敬心学園では、学生一人ひとりの「成長したい」「こうなりたい」という気持ちに寄り添い、志を育み、学びを支援する“スチューデント・ファースト”の教育に取り組んでおります。

“スチューデント・ファースト”を実践する3つのこだわり

1) 心に響く体験プログラム

入学直後の体験学習や海外実習、現場で活躍するプロを講師として招いた授業など、モチベーションを刺激するさまざまなプログラムに取り組んでいます。

2) 圧倒的な面倒見のよさ

学費が不安な学生も安心して学べるよう、企業と連携して「働きながら学ぶ」環境を整えるなど、「学べる」の保証に全力で取り組んでいます。

3) 一歩先をゆくユニークな学び

最先端をゆく企業との連携によって描かれる、業界の未来像。数十年後を見据えた学びによって、今の現場だけでなく、業界の未来を引っ張るようなプロフェッショナルを育成します。

理事長メッセージ



学校法人敬心学園

理事長 小林 光俊 氏

意志あるところに道は開ける—— 実務リーダーとして生きる力を育む 「日本の職業教育のモデル校」

「人生を切り拓いていく力」を育む教育

敬心学園は、「他人を敬い自らを律し、人々の心をもっとも大切にする」という理念のもと、教育事業、研究事業、福祉医療事業を展開しています。教育の核となっているのは東京保健医療専門職大学と、4つの専門学校です。いずれの学校でも、私たちは高度で実践的な専門知識や技術に加え、困難なことにも制約や限界を設けずに挑戦し続ける「人生を切り拓いていく力」を学生が身につけ、現場でプロフェッショナルとして活躍できるよう、一人ひとりの持つ能力・可能性を見だし、育てております。特に近年はコロナ禍であることから、従来型の対面授業が難しくなるケースも多くありますが、教職員は学生の学びの可能性を広げるために、遠隔授業の設備環境を整えたほか、学園に設置する「職業教育研究開発センター」と連携してVR技術を使った教育の研究を行うなどの取り組みを続けています。

東京保健医療専門職大学
日本福祉教育専門学校
日本リハビリテーション専門学校
日本児童教育専門学校
日本医学柔整鍼灸専門学校
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-16-6 敬心学園本部
TEL：03-3200-9073（代表）
URL：http://www.keishin-group.jp/

アジアの職業教育のハブでありたい

「一人ひとりが輝いて生きる社会を創造する」ことを使命に掲げる当学園は、社会のニーズを捉える「先駆性」、真理を追究する「科学性」、人間の生き方・行動に恥じない「倫理性」、人生を豊かにする「文化性」の4つのキーワードを教育の柱に据えています。

世界が激動する中、特に国際的な視点による「先駆性」は不可欠です。また今の日本には、アジア諸国の職業教育を牽引するリーダーとしての役割も求められています。当学園はそのハブとなるために、海外の教育機関・資格機関と連携して学生交流や研究交流をするほか、資格制度の制定や人材派遣などについてのコンサルティングや業務受託などの国際連携を推進しています。同時に、国内の企業・団体との産学連携を推進し、「日本の職業教育のモデル校」となるべく高度で実践的な職業教育を実践しています。

日本の職業教育や国家資格のモデルを策定

学園の創設は40年ほど前「これから高齢化社会が到来する」と言われ始めた頃です。私は「今後、最も必要になるのは保健・医療・福祉・介護の専門的な職業教育である」と考え、日本における保健・医療・福祉・介護教育の基礎となる教育プログラムの策定に取り組み、1984年に「日本医療福祉専門学院（現・日本福祉教育専門学校）」を開学いたしました。その2年後にあたる1986年には厚生省による「社会福祉士」「介護福祉士」等の国家資格制度づくりが始まり、当学園はそのモデル校として日本の職業教育の基盤づくりに尽力いたしました。当時から常に傍らにあったのは、「意志あるところに道は開ける」という信念です。今後もこの志を学生に伝え、新しい価値を創造する実務リーダーを育成してまいります。